

いなべ市の認知症総合支援事業

三重県いなべ市福祉部 長寿福祉課

いなべ市

【三重県の北の玄関口】 面積:約220km²

平成15年12月1日

北勢町、員弁町、大安町、藤原町の4町が
合併して誕生。4庁舎に部署を分けて執務。

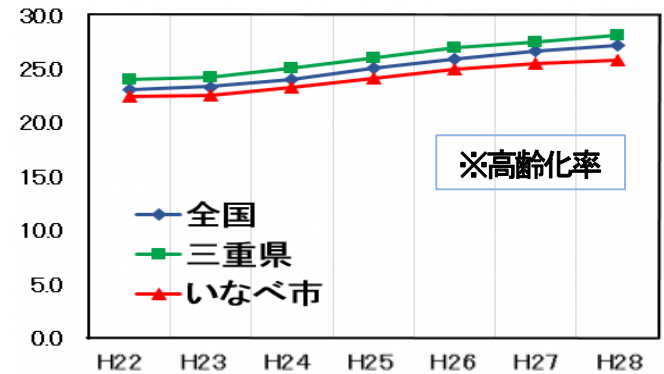


◇第22回ツアーオブ・ジャパンいなべステージ
【2019年5月21日開催】

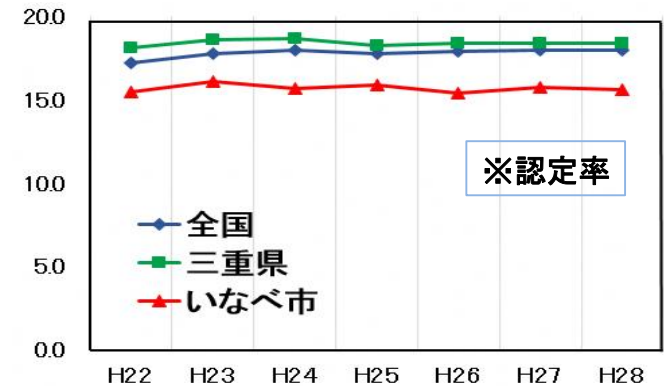


いなべ市の現状 (H30.10.1現在)

- 1 総人口.....45,565人
- 2 65歳以上.....12,208人
(うち、75歳以上人口:6,146人)
- 3 高齢化率.....26.79%
(うち、75歳以上割合:13.49%)



| 員弁 | 大安 | 北勢 | 藤原 |
|-------|-------|-------|-------|
| 23.6% | 23.5% | 28.9% | 35.8% |



- 4 介護認定者数.....1,952人
- 5 認定率(65歳以上).....15.68%
- 6 介護保険料(第7期).....6,050円

訪問調査における認知症自立度
II a以上の人.....67.8% (H30.10.1)

| 事業対象者 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 16 | 128 | 160 | 396 | 407 | 341 | 328 | 192 |

■市内介護サービス事業所・・・89事業所

H30.10.1現在

| 在宅サービス | | 事業所数 |
|---------------------|--|------|
| 居宅介護支援・介護予防支援 | | 13 |
| 居宅介護支援事業所(ケアマネジャー) | | 12 |
| 地域包括支援センター(委託) | | 1 |
| 居宅サービス(介護予防含む) | | 33 |
| 通所介護(デイサービス) | | 10 |
| 訪問介護(ホームヘルプサービス) | | 7 |
| 短期入所生活介護(ショートステイ) | | 5 |
| 訪問看護(うち、訪問看護ステーション) | | 5(4) |
| 特定施設入居者生活介護 | | 2 |
| 通所リハビリテーション | | 2 |
| 訪問リハビリテーション | | 1 |
| 福祉用具貸与 | | 1 |

| 施設サービス等 | | 事業所数 |
|--------------------|--|------|
| 施設サービス | | 4 |
| 特別養護老人ホーム | | 2 |
| 介護老人保健施設 | | 2 |
| 地域密着型サービス | | 30 |
| 認知症対応型共同生活介護(Gホーム) | | 4 |
| 認知症対応型通所介護(認知症デイ) | | 2 |
| 地域密着型通所介護(小規模デイ) | | 21 |
| 小規模特別養護老人ホーム | | 2 |
| 小規模多機能型居宅介護 | | 1 |
| (参考)その他の施設サービス | | 9 |
| 有料老人ホーム | | 5 |
| サービス付き高齢者向け住宅 | | 3 |
| 養護老人ホーム | | 1 |

■市内医療機関・・・40機関

病院 4 医科診療所 20 (内科12 外科1 整形外科2 眼科3 耳鼻科1 小児科1) 歯科診療所 16

地域包括ケアシステムの構築から深化へ

| 事業名 | 内容 |
|---|---|
| <p>H28年4月～</p> <p>介護予防・日常生活支援 総合事業(総合事業)</p> | <p>要支援者を対象とする総合事業では、6ヶ月後の卒業を目標として、サービス利用前に、多職種専門職が参加する<u>介護予防個別ケア会議(タイプA・タイプB)</u>での検討をルールとしている。</p> <p>一般高齢者の一般介護予防事業では、地域の通いの場を促進。</p> |
| <p>H27年4月～</p> <p>地域ケア会議推進事業</p> | <p>H24・H25年度、厚生労働省モデル事業(介護予防強化推進事業)に取り組み、<u>個別ケア会議</u>(介護予防個別ケア会議の前身)を月1回スタート。H27年度から、ケアマネジメント力の向上を目的に、ケアマネジャーを対象に<u>ケアマネジメント支援会議</u>(金魚鉢方式)を定期開催。</p> |
| <p>H26年4月～</p> <p>在宅医療・介護連携推進 事業</p> | <p>H26年6月、東員町と合同で、「在宅医療多職種連携推進協議会」を設置。医師会をはじめ、医療・介護の専門職団体との協働により、<u>在宅医療・介護連携研究会</u>(年4回)や多職種連携研修会(年1回)、市民啓発講演会&医療・介護フェア(各年1回)等を開催。</p> |
| <p>H28年4月～</p> <p>生活支援体制整備事業</p> | <p>H28年度、第1層生活支援コーディネーターを1名配置(圏域/市全域)。H29年度、第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、市内118ヶ所ある<u>自治会を単位</u>とする「<u>福祉委員会</u>」の設置を促進。</p> <p>H30年度、中学校区を圏域とする「第1.5層協議体」の設置を促進。</p> |
| <p>H28年10月～</p> <p>認知症総合支援事業</p> | <p>H28年10月、「<u>もの忘れ初期集中支援チーム</u>」(専門医2名+専門職2名)を設置し、認知症の恐れのある高齢者等へ初期段階でアウトリーチ。H29年4月、<u>認知症地域支援推進員</u>を1名配置(市長寿福祉課内)。認知症ケース相談会(年3回)、認知症ケア向上研修(年2回)等を開催。</p> |

いなべ市の介護予防・日常生活支援総合事業①

| | | サービス区分 | 方法 | 該当サービス | 利用料 | |
|------------------------------|--------------|------------------|--------------------------|-----------------------------------|--|--------|
| 介護予防・生活支援サービス事業 要支援相当者を対象 | 通所型サービス | 現行相当サービス(みなし・独自) | 指定 | 通所介護現行相当サービス | 1割 (日額・月額併用) | |
| | | 多様なサービス | 短期集中予防サービスC | 委託 | 足腰を鍛える(運動器機能向上) 「ハッスル教室」 (いなべ市社協) | 300円 |
| | | | | | こころとカラダを元気にする(外出促進) 「はつらつ教室」 (いなべ市社協) | 300円 |
| | 訪問型サービス | 現行相当サービス(みなし・独自) | 指定 | 訪問介護現行相当サービス | 1割 (日額・月額併用) | |
| | | 多様なサービス | 委託 | OT(作業療法士)訪問 (ナッシングホーム・もも) | 300円/時 | |
| | | | | 直接 | 管理栄養士訪問 | 530円/時 |
| | | | 歯科衛生士訪問 | | 350円/時 | |
| | 住民主体型サービスB | 補助 | (H29.4.1～) ハートキャッチいなべ | (団体が定める額) 500円/60分 250円/30分 | | |
| | その他の生活支援サービス | | 委託 | えぷろんサービス (シルバー人材センター) | 100円/60分 50円/30分 | |

(注)一定以上所得のある方は利用料が2倍・3倍になります(ハートキャッチいなべを除く)。

いなべ市の介護予防・日常生活支援総合事業②

| サービス区分 | 実施方法 | 該当サービス | 内容等 | |
|--|--|----------------------------|--|---|
| <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">一般高齢者を対象</div> 一般介護予防事業 | 介護予防把握事業 | 健康自立度チェック | 要介護認定を受けていない 70歳以上 の全ての方を対象に、年1回、調査票郵送により、健康自立度を調査。 | |
| | | おたっしや訪問事業 (いなべ市社協委託) | 健康自立度チェックの未提出者に対し、電話連絡や個別訪問等により、高齢者の生活状況等を確認。 | |
| | (通所型)地域介護 予防活動支援事業 | 青空教室 (いなべ市社協委託) | 農業公園(藤原町)と大安老人福祉センター(大安町)の2ヶ所で、1年を通じて四季を感じる園芸プログラムを実施(1回500円)。 | |
| | | にこやか集会所コース (元気クラブいなべ委託) | 地区の集会所等で6ヶ月間、週2回、1回約90分、専門のコーディネーターが運動器の機能向上プログラムを実施(無料)。 | |
| | <div style="border: 1px solid yellow; padding: 2px; display: inline-block;">ささやかな介入</div> (住民主体の) 通いの場 | 元気リーダーコース | 集会所コース終了後、元気クラブが養成した 元気リーダー(828人) が中心となり、集会所等で元気体操を継続(84ヶ所)。 | |
| | | 四季の家 | 社協で養成を行った サロンサポーター、地域サポーター 等が中心となり、中学校区で各1ヶ所(4ヶ所)、月2回サロンを開催。 | |
| | | はつらつクラブ | 通所型介護予防事業の卒業者が中心となり、各地区で週1回～月1回、自主的なクラブ活動として開催(10グループ)。 | |
| | | ふれあいサロン | 老人クラブやボランティア等が中心となり、各地区でサロン等を開催(月1回以上開催 46ヶ所/121)。【+非登録 14ヶ所/18 】 | |
| | <div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">支援者を対象</div> | 地域リハビリテーション 活動支援事業 | 地域リハビリテーション活動 支援事業 (日下病院委託) | ケアマネジャーや包括職員のアセスメント支援や介護予防に関する技術的助言をリハビリ専門職が実施。介護サービス事業所からの依頼にも、専門職を派遣。 |

介護予防個別ケア会議について

・総合事業では、卒業を意識したサービス利用を目的として、サービス利用前に、多職種専門職が参加する「介護予防個別ケア会議」で検討を行う。

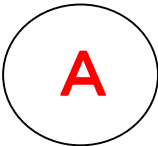

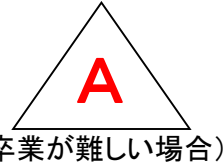
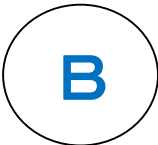


○**介護予防個別ケア会議「タイプA」**（「要支援1・2」の方を対象）

⇒形態：多職種専門職が参加する検討会

○**介護予防個別ケア会議「タイプB」**（「事業対象者」の方を対象）

⇒形態：地域包括支援センター・長寿福祉課・短期集中予防サービス事業所3者の検討会

| 開催頻度 | 1回当たり検討件数 | 構成メンバー（専門職） | | | | |
|---------------------------|-----------|---------------------------------|-------|--------------|-------|------------|
| 月3回 タイプA:2回 タイプB:1回 | 5～6件程度 | 保健師 | 看護師 | 管理栄養士 | 歯科衛生士 | 主任ケアマネジャー |
| | | 理学療法士 | 作業療法士 | 社会福祉士 CSW | 介護福祉士 | 認知症地域支援推進員 |
| | | 介護予防教室担当、生活支援コーディネーター、総合事業担当 など | | | | |

| 区分 | 利用開始時 | 6ヶ月後 | 評価時 | 検討様式（共通） |
|-------------------------|---|--|---|---|
| 要支援1・2 （要支援認定者） |  |  |  （卒業が難しい場合） | ①利用者基本情報 ②基本チェックリスト ③アセスメントシート ④ケアプラン原案 ⑤（評価時）サービス評価表 |
| 事業対象者 （基本チェックリスト該当者） |  |  |  （卒業が難しい場合） | |

介護予防個別ケア会議「タイプA」の様子

『介護予防個別ケア会議』では、事前に配布された検討資料（アセスメントシート94項目、プラン案）に基づき、内容の妥当性を含め、多職種専門職で次の点について検討する。

- ①解決すべき問題の整理、
 - ②課題発生要因の特定、
 - ③改善可能性の見通し、
 - ④目標の設定、
 - ⑤支援計画の確定
- ⇒1件あたりの検討時間：約30分

◎**認知症地域支援推進員**は、
個別事例の検討を通じて、地域の課題等を把握し、他事業へ展開（資源開発）に活用する。
個別支援における助言を行い、参加者全員が認知症の人への対応等を学べる機会とする。



いなべ市介護予防把握事業

- ・年1回、要介護認定を受けていない70歳以上の全ての方を対象に、健康自立度に関する調査を行い、閉じこもり状態等で何らかの支援が必要と判断する場合には、介護予防活動等への参加勧奨を行う。
- ・調査項目は、**35項目**（基本チェックリスト25項目＋市独自項目10問）。
- ・35項目のうち、**8項目**はもの忘れに関する項目で、認知症初期集中支援チーム事業でも結果を活用。

(H29年度) 65歳以上高齢者 約11,900人

健康自立度チェック調査(70歳以上)
約6,500人

介護保険認定者
約1,900人

未提出
700人

調査票回収 6,000人 (回収率:92.8%)
基本チェックリスト該当:2,200人(36.9%)

要支援1・2
350人

要介護1-5
1,550人

おたっしや訪問事業

350人

**98~99%
状況把握**

市独自項目追加による事業対象者候補
1,800人
(28.3%)

地域包括支援センターによる予防対象者の把握・支援

- ・おたっしや訪問事業による状況把握 550人
(調査票提出:350人、未提出ではあるが生活状況把握:200人)
- ・ふれあいサロンの「ふれあいマップ」からの情報収集
- ・救急医療情報「おたすけ箱」の配付、総合相談(新規)
(75歳以上高齢者世帯の把握、民生委員等からの通報) など

これらの情報は、ロコモ(運動機能低下)や骨格筋量低下、閉じこもり・うつ・認知症など、介護予防対象者の早期発見につながるほか、虐待の早期発見にも役立つ重要な情報です。

健康自立度チェック票

- ・市独自項目(10問): 問1~5、26~30
- ・もの忘れ項目(8問): 問23~30

いなべ市 平成30年度 健康自立度チェック票 回答用紙

例 体重 kg
枠内に右詰めで記入してください。

電話番号 ※連絡のとれる番号(携帯電話可)をご記入ください。
 - -

はじめに
次の項目について該当する箇所があれば「」を塗りつぶしてください。該当された方は、ここで終了です。同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

- 長期に入院している
 - 長期に施設に入所している
 - 心身の状態により回答することができない
- 該当されなかった方は次へお進みください。

スタート

- 1 現在の家族構成はどれですか？
- ひとり暮らし
 - 夫婦二人暮らし
 - 家族などとの同居世帯
 - その他
- 2 収入を伴う仕事をしていますか？
- はい いいえ
- 3 現在の健康状態はどうですか？
- とても良い
 - まあ良い
 - 普通
 - あまり良くない
 - 良くない

- 4 散歩や体操など健康のための運動をしていますか？
- はい いいえ
- 5 健康や生きがいのために日頃から交流の場に参加していますか？
- はい いいえ
- 6 バスや電車で1人で外出していますか？
- はい いいえ
- 7 日用品の買物をしていますか？
- はい いいえ
- 8 預貯金の出し入れをしていますか？
- はい いいえ

- 9 友人の家を訪ねていますか？
- はい いいえ
- 10 家族や友人の相談にのっていますか？
- はい いいえ
- 11 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか？
- はい いいえ
- 12 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか？
- はい いいえ
- 13 15分位続けて歩いていますか？
- はい いいえ
- 14 この1年間に転んだことがありますか？
- はい いいえ
- 15 転倒に対する不安は大きいですか？
- はい いいえ

- 16 6ヵ月間で体重が2kg以上、減りましたか？
- はい いいえ
- 17 身長と体重をご記入ください。
- 身長 cm
体重 kg
- 18 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか？
- はい いいえ
- 19 お茶や汁物等でむせることがありますか？
- はい いいえ
- 20 口の渇きが気になりますか？
- はい いいえ
- 21 週に1回以上は外出していますか？
- はい いいえ
- 22 昨年と比べて外出の回数が減っていますか？
- はい いいえ

- 23 周りの人から「いつも同じ事を聞くなどの物忘れがあると」言われますか？
- はい いいえ
- 24 自分で電話番号を調べて、電話をかけるをしていますか？
- はい いいえ
- 25 今日が何月何日かわからない時がありますか？
- はい いいえ
- 26 しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしていますか？
- はい いいえ
- 27 料理・片づけ・計算・車の運転などでミスが多くなりましたか？
- はい いいえ
- 28 新しいことが覚えられないですか？
- はい いいえ
- 29 約束の日時や場所を間違えるようになりましたか？
- はい いいえ

- あと少しだよ!
- 30 外出時、持ち物を何度も確かめますか？
- はい いいえ
- 31 (ここ2週間)毎日の生活に充実感がないですか？
- はい いいえ
- 32 (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しくなくなりましたか？
- はい いいえ
- 33 (ここ2週間)以前は楽しんでできていたことが今ではおっくうに感じられますか？
- はい いいえ
- 34 (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない事がありますか？
- はい いいえ
- 35 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがしますか？
- はい いいえ

ゴール

記入漏れがないかご確認ください



いなべ在宅医療・介護連携研究会の様子

医療・介護の専門職が参加する『在宅医療・介護連携研究会』を年4回開催（19:30～21:15）。研究会は地域の専門職代表からなる運営委員会が主催・進行し、前半は現場の専門職から実践事例の発表、後半はテーマに沿ってグループワークを行う。⇒毎回、**約130名**が参加。

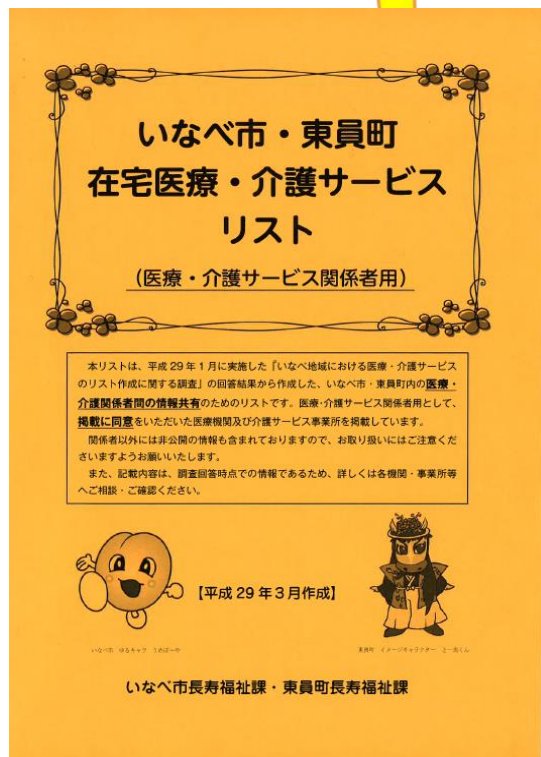
【参加者】 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、栄養士、歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士、生活相談員、介護職員、ケアマネジャー、福祉用具専門相談員、施設管理者、MSW・PSW、行政職員（県保健所、市保健師、**認知症地域支援推進員**含む）など



「いなべ市・東員町 在宅医療・介護サービスリスト」

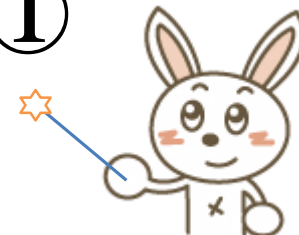
毎年1回、地域包括支援センターと長寿福祉課で、市内の医科、歯科、薬局等を訪問。
認知症総合支援事業を実施するにあたり、医療機関等から、**認知症の診断・診療の可否等**を
確認し、「在宅医療・介護サービスリスト」に反映。⇒認知症の個別相談等において活用。

H29年3月作成
(H31年3月更新)



| 医療機関名 | 診療科目 | 他職種が 相談可能な 時間帯 | 他職種の方々への 要望 | 認知症 の診断 | 認知症 の診療 | 認知症の 治療方法 |
|------------------|---------------------|---|----------------|------------|------------|--------------|
| ● 医院 | 内科・小児科・ 循環器科・皮膚科 | 診療時間内 | | 可能 | 可能 | 投薬のみ |
| ● 内科クリニック | 内科 | 診療時間内 (電話予約必 要) | | 不可能 | 可能 | 投薬のみ |
| 医療法人 ● 眼科 | 眼科 | 診療時間内 | | 不可能 | 不可能 | - |
| ● 医院 | 内科・小児科 | 診療時間内 | | 可能 | 可能 | 投薬のみ |
| 医療法人 桑春会 ● 医院 | 内科・小児科 | 診療時間内 | | 可能 | 可能 | 投薬のみ |
| ● 医院 | 内科・小児科 | 診療時間内 (予約必要) | | 可能 | 可能 | 投薬のみ |
| ● 医院 | 内科 | 診療時間内 (11:30~11: 50 15:30~16: 00) | | 不可能 | 可能 | 投薬のみ |
| ● 整形外科 | 整形外科 | 診療時間内 | | 不可能 | 不可能 | - |

いなべ市認知症総合支援事業①



(H28年10月～)

1 認知症初期集中支援推進事業

- ①「もの忘れ初期集中支援チーム」を設置(市長寿福祉課内)。
- ②介護予防把握事業として、年1回、要介護認定を受けていない70歳以上全ての方を対象に、「**健康自立度チェック票**」による調査を実施。
- ③調査項目は、**35項目**(基本チェックリスト25項目+独自項目10問)。
- ④調査項目のうち、もの忘れに関する項目8項目で、該当項目数が多い対象者から優先的に、チーム専門職が訪問し、認知症予防等に関する助言を行う。
- ⑤月1回、チーム員会議を開催し、チームで訪問結果を共有するとともに、必要な方に対する初期集中支援を実施。

⇒【H30年4月～】地域包括支援センター内へチームを設置変更

H29年度 初期集中支援件数:45件

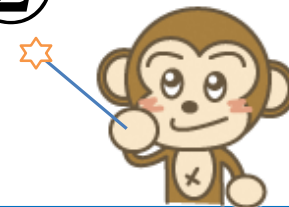
いなべ市もの忘れ初期集中支援チーム



- ・ **認知症サポート医 2名**
(市内医1名、市外医1名)
- ・ **チーム員 2名**
(包括センター社士1名+保健師1名)
- ・ **市長寿福祉課 2名**
(保健師、**認知症地域支援推進員**)



いなべ市認知症総合支援事業②



(H29年4月～)

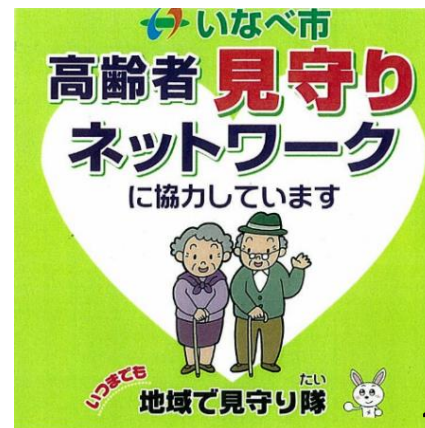
2 認知症地域支援・ケア向上事業

- ①認知症地域支援推進員の配置(市長寿福祉課内に1名)
 - ②認知症ケースの相談支援(地域ケア会議の開催、同行訪問など)
 - ③認知症のひとと家族の「**おれん家”カフェ**」の開催支援
 - ④「コミュニティカフェ」の開催支援
 - ⑤認知症ケース相談会(事例検討会)の開催(年3回)
 - ⑥認知症対応力向上・認知症ケアに携わる多職種協働研修の開催(年2回)
 - ⑦認知症サポーター、認知症キッズサポーター養成講座の開催
 - ⑧認知症ケアパスの作成
 - ⑨徘徊SOSネットワーク事業(事前登録者:77名、見守りネットワーク協力団体:328団体)
- ⇒【H31年度】認知症高齢者等QRコード配布、損害賠償保険料補助を検討

H30.10.1現在

◎認知症地域支援推進員が参加する会議

- ・チーム員会議(月1回)⇒**チーム、地域の医療機関との連携**
- ・介護予防個別ケア会議(月2回)、ケアマネジメント支援会議(年3回)
- ・いなべ在宅医療・介護連携研究会(年4回)
- ・認知症初期集中支援チーム検討委員会(年1回)
- ・認知症疾患医療センター連携協議会(年2回)
- ・三重県認知症地域支援専門員連絡会(年2回) など



■認知症のひとと家族の「おれん家”カフェ」の開催支援(③)

ボランティア団体との連携

認知症の人やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有し、お互いを理解し合う「おれん家”カフェ」の開催を支援。H30年度からは、**認知症支援ボランティア団体「かのん」**の主催へ移行。

○カフェのスケジュール・・・10:00～11:30 カフェタイム、自己紹介、アクティビティプログラム
11:30～12:00 座談会、アンケート

◎H29年度の開催状況

| | 実施日 | 内容 | 参加者数 |
|----|------------------|--------------------|------|
| 1 | H29年4月9日(日) | お花見(和菓子作りと抹茶) | 29人 |
| 2 | H29年5月21日(日) | 音楽レクリエーション | 38人 |
| 3 | H29年6月11日(日) | ファッションショー | 42人 |
| 4 | H29年7月16日(日) | 認知症予防レクリエーション | 50人 |
| 5 | H29年8月20日(日) | 第二の人生を楽しむコツを知ろう | 36人 |
| 6 | H29年10月15日(日) | おでかけツアー(お千代保稲荷) | 31人 |
| 7 | H29年11月19日(日) | もちつき大会 | 38人 |
| 8 | H29年12月10日(日) | 園芸(クリスマスバージョン寄せ植え) | 28人 |
| 9 | H30年1月21日(日) | 冬のエステ(ハンドケア) | 20人 |
| 10 | H30年2月18日(日) | ステンシル | 25人 |
| 11 | H30年3月11日(日) | 音楽レクリエーション | 40人 |
| | 計11回(台風のため9月は中止) | | 377人 |



■コミュニティカフェの開催支援(④)

包括、生活支援コーディネーター、事業所等との連携

地域で開かれたカフェの開催を市内のサービス事業所等に提案し、認知症の人の居場所づくりや、地域での活躍の場の提供、介護者の負担軽減を目的に開催を支援した。

| | 協力事業所 | カフェ開催回数 | 備考 |
|-----------------|-------|---------|-----------------------|
| H29年度 | 2ヶ所 | 4回 | 山郷カフェ、せせらぎ |
| H30年度(H30.4～12) | 4ヶ所 | 17回 | 山郷カフェ、せせらぎ、ほほえみ、ももカフェ |

■H29年度 認知症ケース相談会(事例検討会)(⑤)

包括、ケアマネジャー、医療機関、事業所等との連携

認知症に関する困難ケースへの支援として、ケアマネジャー等を対象に認知症サポート医(チーム専門医)と認知症疾患医療センターPSWを助言者として事例検討会を開催(1件あたりの検討時間は約30分)。

| | 開催日等 | 検討件数 | 出席者 |
|-----|---|------|--|
| 第1回 | 日時:H29年7月7日(金)13:30~15:15 場所:いなべ市大安庁舎打合せ室2 | 3件 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポート医(チーム専門医) 認知症疾患医療センターPSW 認知症地域支援推進員 |
| 第2回 | 日時:H29年11月24日(金)14:00~15:45 場所:いなべ市大安庁舎応接室 | 3件 | <ul style="list-style-type: none"> 長寿福祉課 地域包括支援センター 担当ケアマネジャー等 |

■H29年度 認知症対応力向上・認知症ケアに携わる多職種協働研修(⑥)

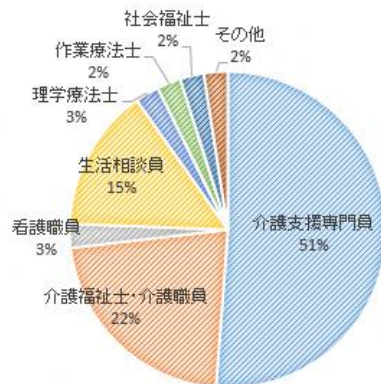
認知症の人や家族が安心して地域で暮らすことができるよう、介護サービス事業所等における認知症対応力の向上を図ることを目的として、認知症地域支援推進員が中心となって多職種協働の研修会を開催。

| | 開催日・内容 | 参加者数 |
|-----|---|---|
| 第1回 | 日時:H29年8月22日(金)9:30~11:40 場所:北勢福祉センター大会議室 講演:「 認知症の受診と治療 」 講師:山脇胃腸科内科神経内科 院長 山脇 崇氏 ナビゲーター:認知症地域支援推進員 三浦浩実 | 51名 ケアマネジャー:17名 事業所・医療機関:26名 包括センター:3名 行政:5名 |
| 第2回 | 日時:H29年12月19日(金)9:30~12:00 場所:北勢福祉センター大会議室(進行:認知症地域支援推進員) 講演①「 MCIについて 」 講師:山脇胃腸科内科神経内科 院長 山脇 崇氏 講演②「 認知症とリハビリ 」 講師:日下病院リハビリテーション部 吉田真二氏(PT) | 50名 ケアマネジャー:22名 事業所・医療機関:19名 包括センター:6名 行政:3名 |

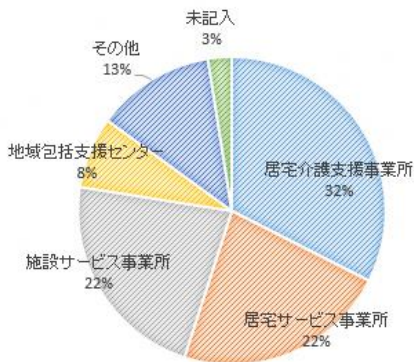
家族支援をテーマにナビゲーターが講師に質問し、その回答を参加者で共有。

■第1回 多職種協働研修 アンケート結果 (回収数 N=40)

| 職種 | 人数 |
|------------|-----------|
| 介護支援専門員 | 17 |
| 介護福祉士・介護職員 | 10 |
| 看護職員 | 3 |
| 生活相談員 | 2 |
| 理学療法士 | 1 |
| 作業療法士 | 3 |
| 社会福祉士 | 1 |
| その他 | 3 |
| 計 | 40 |

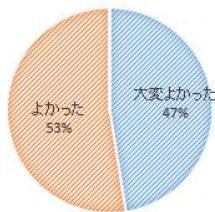


| 所属 | 人数 |
|------------|-----------|
| 居宅介護支援事業所 | 13 |
| 居宅サービス事業所 | 9 |
| 施設サービス事業所 | 9 |
| 地域包括支援センター | 3 |
| その他(医療機関等) | 5 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 40 |



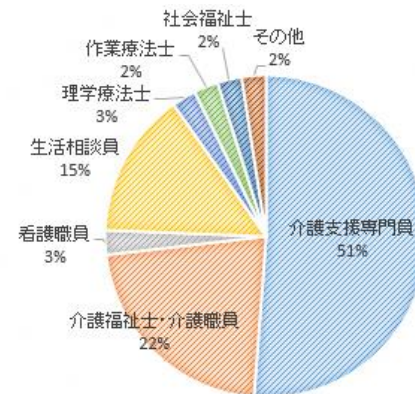
「認知症の受診と治療について」

| 感想 | 人数 |
|-----------|-----------|
| 大変よかった | 19 |
| よかった | 21 |
| ふつう | 0 |
| あまりよくなかった | 0 |
| よくなかった | 0 |
| 計 | 40 |

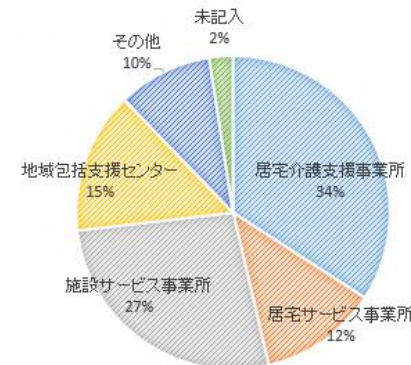


■第2回 多職種協働研修 アンケート結果 (回収数 N=41)

| 職種 | 人数 |
|------------|-----------|
| 介護支援専門員 | 21 |
| 介護福祉士・介護職員 | 9 |
| 看護職員 | 1 |
| 生活相談員 | 6 |
| 理学療法士 | 1 |
| 作業療法士 | 1 |
| 社会福祉士 | 1 |
| その他 | 1 |
| 計 | 41 |

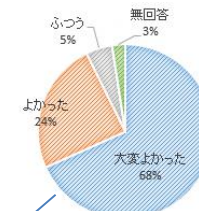


| 所属 | 人数 |
|------------|-----------|
| 居宅介護支援事業所 | 14 |
| 居宅サービス事業所 | 5 |
| 施設サービス事業所 | 11 |
| 地域包括支援センター | 6 |
| その他(医療機関等) | 4 |
| 未記入 | 1 |
| 計 | 41 |



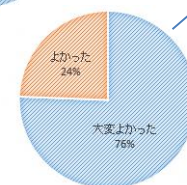
「MCIについて」

| 感想 | 人数 |
|-----------|-----------|
| 大変よかった | 28 |
| よかった | 10 |
| ふつう | 2 |
| あまりよくなかった | 0 |
| よくなかった | 0 |
| 無回答 | 1 |
| 計 | 41 |



「認知症とリハビリについて」

| 感想 | 人数 |
|-----------|-----------|
| 大変よかった | 31 |
| よかった | 10 |
| ふつう | 0 |
| あまりよくなかった | 0 |
| よくなかった | 0 |
| 計 | 41 |



■認知症サポーター、認知症キッズサポーター養成講座(⑦)

◇市全体の認知症サポーター累計養成者数(メイト含む)……(H30.10.1現在) **8,025人**

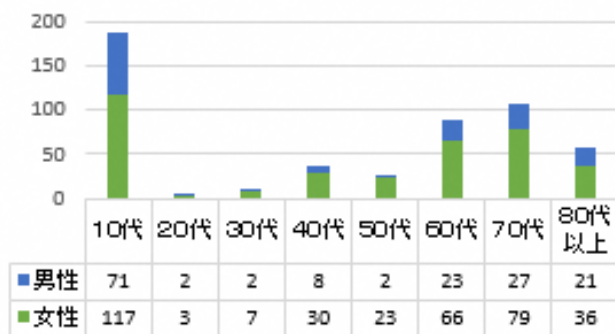
◎養成講座開催回数等

メイト+サポーター1人当たり担当高齢者人口 1.5人

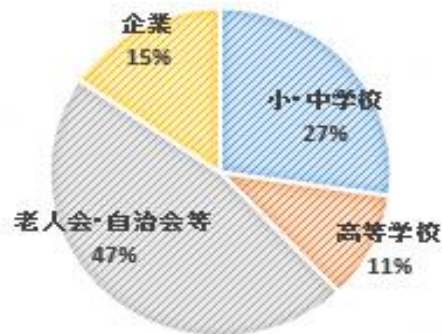
(単位：人)

| | 内容 | | 回数 | 受講者数 |
|---|------------------|-----------------|-----|------|
| 1 | 認知症サポーター養成講座 | H29年度 | 18回 | 376人 |
| | | H30年度(H30.4~12) | 6回 | 156人 |
| 2 | 認知症キッズ・サポーター養成講座 | H29年度 | 4回 | 141人 |
| | | H30年度(H30.4~12) | 8回 | 344人 |
| | 計 | H29年度 | 22回 | 517人 |
| | | H30年度(H30.4~12) | 18回 | 500人 |

H29 認知症サポーター養成講座受講者数
(男女・年代別)



H29 認知症サポーター養成講座受講者
(対象者別)



教育委員会、生活支援コーディネーター、キャラバン・メイトとの連携

- ・教育委員会へキッズ・サポーター養成講座開催の働きかけ
- ・徘徊SOSネットワーク協力団体(企業等)、福祉協力校への働きかけ
- ・福祉委員会(自治会)での福祉勉強会のメニューとして講座を実施
- ・活動キャラバン・メイトと講座内容や使用教材の見直し作業



認知症初期集中支援チーム検討委員会

年1回、当該年度の認知症初期集中支援チーム事業、及び認知症地域支援・ケア向上事業の実施報告と、次年度の事業計画を提案し、検討する。

【出席者】 * * * * *
医師会長、認知症サポート医(チーム専門医)、認知症疾患医療センターPSW、
市内ケアマネジャー代表、認知症ケアに関する有識者、地域包括支援センター
(チーム専門職)、長寿福祉課(認知症地域支援推進員を含む)



「連携」とはそれぞれの立場で互いに
連絡をとり、協力して事業を行うこと。
「協働」とは立場の違いを越えて、同じ
目的を持って事業を行うこと。